

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp
E X - R U L info@jaichi.jp
TEL(052)916-2251
FAX(052)916-2308

2014. 6. 10 No.1094

発行責任者 柳 進 定価 10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

自治労連愛知県本部 第113回定期大会

とき 7月19日(土)10:00～
ところ 日本ガイシフォーラム

平和を学び仕事について考えたい 参加する青年の思い



炎天下の中、スピーディーに公園脇のゴミを収集する3人(左から小地原さん、稲垣さん、鈴木さん)

全国の自治体の青年が沖繩に集う「おきプロNEXT」が6月13日より始まります。愛知からは101人が職場の仲間に支えられ、送り出されます。そのひとつ、春日井市清掃事業所を訪ねました。

13年ぶりの 新規採用者

「まだ先輩達の仕事についていくだけで精一杯です」と笑顔で語ってくれるのは、おきプロNEXTへの参加を決めている、春日井市職員の小地原(しゅう)さん。

「まだ先輩達の仕事についていくだけで精一杯です」と笑顔で語ってくれるのは、おきプロNEXTへの参加を決めている、春日井市職員の小地原(しゅう)さん。

市民に責任を持つ職員として成長して欲しい 「おきプロNEXT」へ送り出す先輩の願い

井日市職 春市

強く交渉を続け、今年4月から、毎年の計画的な採用を勝ちとりました。



小地原一博さん

おきプロNEXT での成長に期待

小地原さんと同じルートの先輩、鈴木さんは定年まであと4年。職場の体制に焦りを感じていたそうです。「退職不補充で技術と経験の継承ができないことを不安に感じてい

た。これで「担い手」をつくれ、住民のためになる」と採用を喜びます。もう1人の先輩、稲垣さんは、おきプロNEXT当日の勤務について「彼がいない間のシフトはみんなで調整します」と職場の協力を語ります。

経験を積むことで 良い仕事ができる

「全国の現業の仲間とふれあい、自治体職員としての仕事に対する考え方を学んで欲しい。また、事務や保育など全く別の職場の状況を聞くことで、見聞を広めて欲しい」と、成長を期待します。

和歌山県出身の小地原さんは、春日井で2年間過ごし、街が隅々まで整備され、とてもきれいで雰囲気の良い仕事を感じたといいます。「市の職員として、この思い入れのある街で一生働き続けたい。ごみステ

給与制度の総合的見直し 世論を広げてはね返そう

部回員会 本3委 県第中

夏季闘争の前進に向けた方針を確立する、県本部第3回中央委員会が5月24日、県本部会館で行われました。代議員、傍聴など含め60人以上が参加しま



夏期闘争に向け積極的な討論

はじめに伊藤委員長が「増税、社会保障切り捨てなど、国政の歪みに対する住民の怒りが、行政の一番最前線に立つ私たちに向けられ、官民が分断されつつある。悪法を許さないとりくみを職場からすすめよう」と開会あいさつ。

夏季闘争方針案では、「全県下を視野に、給与制度の総合的見直しを許さないたたかいを、職場から地域に広げて、夏季・人事院勧告期の闘争をすすめること、この見直しをスト

よう」など、たたかいの柱が提起されました。発言では「498人の新規採用者を職場に迎え、加入率60%を達成した。3月末までに各支部で事前準備をいねいに行い、一人でも多くの仲間を増やすことが組合の力になる、と訴えてきた成果」(名古屋市中職労)、「給与制度の総合的見直し」は公務員全体の賃金を下げるもの。地方自治体の人事院勧告準拠という姿勢を止めることが、この見直しをスト

ップさせる一つの手段となる。そのための運動が必要だ(春日井市職労)、「来年4月に施行される『子ども・子育て支援新制度』は、自治体の保育実施責任を放棄するもの。各自治体当局と要請・懇談し、保育の質の向上と量の拡大を求め、地域との共同を広げ、保育水準を維持・向上させたい(幸田町職労)、など春の組織拡大、賃下げ反対、住民福祉の向上へ活発な議論が展開されました。

最後に全ての議案が拍手で採択され、夏季闘争に向けた意思を固め合いました。

言いたい劇場

小昔りや子



2014年 国民平和 大行進

～愛知入り～

核兵器のない世界をめざし平和の思いをつないで歩く「2014年国民平和大行進」が5月31日、愛知県内に入りました。

静岡県湖西市西部公民館でのひきつき集会の後、愛知行進団はこの日の終着点、桜丘高校へ向けて出発。「核兵器をなくそう」

「平和な世界を実現しよう」と元気よく行進し、沿道の市民から「今年もまた来たね。がんばって」と声援を受けました。

4時間以上を歩き続け、到着。歓迎集会では、学校を代表して伊藤浩光先生が「『集団的自衛権の行使』が叫ばれる中、平和を訴え



「戦争では何も生まれない」 平和の思いつなぐ行進始まる

この行進の意義は大きい」と歓迎。学校の「戦争では何も生まれない」の平和宣言文が読み上げられると、行進者から大きな賛同の拍手が起りました。

署名とカンパで 平和の思い実感

署名・カンパ隊では豊橋市職労が大活躍。炎天下の下、行き交う人と対話。また、沿道の家々を訪ね、平和署名245筆、カンパ約2万円を集めました。

桜丘高校で、がんばりの成果を報告した齋藤はるのさん(保育士2年目)は「平和のために協力してくれる人がこんなにたくさんいるんだと実感できた。来年も歩きたい」と感想を寄せました。



元気に署名を呼びかける齋藤はるのさん

セット共済 安くして安心

掛金 1820円/月 → 病气入院 5000円/1日

自治労連



毎年好評のミニごみ収集車

私たちの仕事 知って下さい

まちなかいききフェスタ2014 豊橋

豊橋市職労を中心に市民団体でつくる実行委員会は5月25日、こども未来館ココニコで「まちなかいききフェスタ2014」を開催。晴天に恵まれた休日ということもあり、会場には家族連れ3000人が訪れました。

会場には市役所の仕事を紹介する様々なブースを設置。福祉保健支部は手洗いチェッカーや紙皿かざぐるまづくり。水道支部は涼しげなスーパードール流し。ステージでは青年部がゆるキャラの着ぐるみに入って笑いを誘い、蒲郡市職のチャリディングチーム「にこりーず」も演技を披露。大きな声援を受け、仕事のアピールとともに住民と交流を深めました。



A(有段者)の部の上位は東海北信大会へ出場します



碧南市との懇談の様子

公契約条例、臨職の処遇で前進

2014年春の自治体キャラバンまとめ

住民のくらし守り、公務公共サービスの拡充などをめざして愛知県下の市町村を訪問・懇談

する「春の自治体キャラバン」が6月4日、全行程を終えました。

向きな自治体が多く見られました。

公共工事や事業委託の場で働く者の適正な労働条件を確保する、公契約条例について「点検シートを使ってチェックしている」(東海市)の他、「有効な手段である」(あま市)、「ブラック企業の把握が難しい。チェックシートも考えた」(西尾市)と、導入に前

進している自治体が多く見られました。

非正規職員の処遇改善については、「最賃が引き上がったことにより、時給を790円から800円にした」(南知多町、美浜町)と前進が見られた一方で、「労務職で780円(最賃と同額)の職員がいる」(愛知県)と厳しい実態も明らかとなりました。

中学生の職場体験で自

衛隊が含まれるかについて「戦車に乗った」などの子どもたちの話を聞き、親から疑問の声。議会でも取り上げられ、それ以来行っていない(知立市)の一方で、「1つの職業であり、問題がない限り止めるつもりはない」(安城市)、「行っているかどうか、全区を把握していない」(名古屋市)など、体験内容の把握とともに、体験の場に適していないことをあらためて追求するキャラバンになりました。

選りすぐりの棋士達が真剣勝負

県本部囲碁将棋大会

県本部囲碁将棋大会を5月25日に開催し16人が参加。段・級2グループに分かれて、実力伯仲の真剣勝負を楽しみました。結果は以下の通りです。

囲碁の部 結果

優勝 鳥居信一(豊川市職労)
準優勝 小林哲広(名古屋市職労)
3位 須崎真弥(名古屋市職労)

将棋の部 結果

優勝 垣見泰徳(名水労)
準優勝 福島隆夫(名水労)
3位 安富 徹(名古屋市職労)

単組定期大会 役員紹介

- 碧南臨職労(5月25日)
 - 執行委員長 角谷 唯高
 - 副委員長 石川 裕一
 - 書記 倉田 利奈
- 名古屋水道検針員労組(5月30日)
 - 執行委員長 鳥本由加理
 - 副委員長 畠中 由紀
 - 書記 岩田 富子
- 長久手市職労
 - 書記 岩田 佳子
 - 書記 渡辺 泰
 - 書記 長崎 照子